

児童朝会 校長の話 11月6日

先週は全校遠足が行われました。私は残念ながら、遠足が延期したために出張に重なってしまい、一緒に行けませんでした。行った先生たちから「6年生がリーダーシップを発揮して、1年生から5年生までも協力して、とても楽しい遠足になった」と聞きました。6年生、どうもありがとうございました。

あと2週間で150周年の記念式典が行われますね。そこで「未来へ向かって」という曲をみんなで演奏し歌いますが、どうやってその曲ができたか、お話しします。

「未来へ向かって」は浅小賛歌です。賛歌というのは浅草小学校は素晴らしい学校ですと、称える歌という意味です。今から20年前、創立130周年の時に、先生たちが記念に何か作ろうと相談して、歌を作ることにしました。130周年の式典では、皆さんと同じように呼びかけをやる事になっていましたが、6年生が呼びかけの言葉を作りました。そして、児童集会でその言葉を発表しました。すると、その言葉があまりにも素晴らしくて、聞いていたみんなが感動したそうです。そこで、この呼びかけの言葉を歌の歌詞にすることになりました。

ですから作詞は6年生です。そして、当時浅草小学校の音楽の先生だった宮崎進先生が作曲して、この曲が出来上がりました。130周年の式典で全校児童で歌ったそうです。スクールバンド



が演奏し、宮崎先生が指揮を

なさっています。その写真が

残っています。宮崎先生は今

は、台東区ジュニアオーケス



トラの指揮をなさっているオーケストラ指導のプロの先生です。1学期に来てくださったジュニアオーケストラの巡回演奏の時に、指揮と楽器の説明をしてくださった先生です。今回、式典の中で「未来に向かって」は、時間の都合で1番しか歌えないので、宮崎先生に1番しか歌えませんがお許しください。と話したら、歌ってくださるだけでとっても嬉しいです。楽しみに150周年の式典に伺います。と言ってくださいました。

みんなで歌う1番の歌詞をみてみましょう。

季節いろどる行事になかに … 浅草には三社祭、ホウズキ市、羽子板市など季節毎に行
事があります。

あふれる あたたかさ 心意気 … 町にはあたたかさが一杯にあふれています。

そんな浅草の町に生まれ … そんなあたたかさに包まれて私たちは育っています。

未来のかけはし 今きずく … 未来に続く今を精一杯生きています。

だから自分を見つめよう きたえよう 明日に向かって

go together with friend 友達とみんなで一緒に進んでいこう

go together with friend 友達とみんなで一緒に進んでいこう

Let's go over the rainbow 虹を越えて

for the future of all 未来へ向かって

当時の6年生が作ってくださった言葉を大切に、みんなで歌っていきましょう。

そして、歌の伴奏はスクールバンドの皆さんです。団長さん、副団長さん、パートリーダーの皆さん前に出てきてください。自己紹介してもらいます。(自己紹介)

スクールバンドの皆さんは手を挙げてください。この皆さんは毎日、朝練習を積みかさねて

います。そして、素晴らしい演奏をしてくださいませ。

団長さんからメッセージがあります。(メッセージ)

スクールバンドの皆さんと歌を歌う皆さん。心一つにして素晴らしい音楽を作っていきますよ。

未来へ向かって
作詞 六年生
作曲 宮崎遊

一 季節いどる行事のなか
あふれるあたたかさ心いき
そんな浅草の町にはぐくまれ
未来へのかけはし今きずく
だから自分を見つめよう
きたえよう 明日に向かって

二 つらくかない時代のときも
手とり助け合う子どもたち
そんな浅草の歴史のなかに
たくましさやせし今まなぶ
だから自分を見つめよう
きたえよう 明日に向かって

三 高くそびえるとけいはいは
いつかしずかに見つめてる
そんな浅草の校舎のなかで
明日への時間を今きずく
だから自分を見つめよう
きたえよう 明日に向かって

go together with friends
go together with friends
Let's go over the rainbow
for the future of all